



益子小学校 学校だより① R5.4月

山 紫
やまむらさき



学校坂の桜

《5つのいっぱい運動》あいさついっぱい、花いっぱい、歌いっぱい、読書いっぱい、運動いっぱい

◇ ◇ ◇ 令和5年度の始まりにあたり ~素晴らしい出逢いに感謝~ ◇ ◇ ◇

新年度を迎え、お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。今年は例年よりも春の訪れが早く、学校坂の桜も葉桜に変わりつつある日に、全校児童288名による新しい年度が始まりました。

入学式準備では、新6年生が、入学してくる本校の可愛い弟や妹たちのために、心を込めて一生懸命に取り組んでくれました。その姿から、学校のリーダーとしての自覚と「今年度も頑張るぞ」という意気込みが強く伝わってきました。頼もしい限りでした。そして、新1年生を迎え、どの子も希望と期待に胸を膨らませる中、新学期を迎えることができ、とても嬉しく思っております。

今年度も様々な人々との出逢いやつながりを大切に、子どもたち、保護者や地域の皆様、関係機関の方々とともに、創立149年目の歴史を紡いでいこうと思います。また、今年度は文科省指定の人権教育研究指定校としての公開研を11月に予定しています。本研究を通して、豊かな人間性や自尊感情を育てていきたいと考えております。併せて、学ぶ楽しさを感じる授業づくりや個に応じた心身の発育を図ることなどについても、教職員全員が心を一つにして取り組んでいきます。特に、子どもたちが主体的に学んだり、活動したりできるように、様々な場面で支援していきたいと考えております。

本年度も御理解、御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



学校教育目標

新年度のはじめにあたり、改めて、本校の教育目標について触れておきたいと思います。本校の学校教育目標は、次の3つです。

【学校教育目標：期待する児童像】

- (1) 伸びる : 課題に向かって主体的に取り組む子(知)
- (2) 思いやる : 友達と仲良く遊び助け合う子(徳)
- (3) 耐える : 最後までやり抜く子(体)

この教育目標のとおり、本校では『知・徳・体』の調和のとれた子どもの育成を目指しています。今年度もこの教育目標の達成のために、安全であることを全ての基盤とし、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」を育てていきたいと思っております。





43名の1年生が入学しました



11日（火）体育館において入学式を行いました。

今年度も体育館のフロアだけを使う対面式の形で実施しました。新入生席を正面のステージ側にし、時計回りに来賓席・職員席、保護者席と4者が向き合い、職員席と来賓席の間に演台を設けました。これは新入生の表情が誰からもよく見えるようにし、みんなが一体となって新入生をあたたかく迎えることがねらいです。新型コロナウイルス感染防止対策として「3密」を避けるため、「お迎えのことば」を述べる6年生の代表児童1名以外、在校生は式には参加できませんでしたが、そのかわりに前日までに6年生が心を込めて会場設営などの準備をしてくれていました。

新入生はお友達と並んで入場し、フラワーロードを歩いて自分の席に着きました。新入生呼名では、担任の先生から名前を呼ばれると、1人ずつ元気よく返事をして起立し、着席しました。保護者の方々はその一瞬を逃さぬよう写真やビデオで撮影されていました。校長式辞では、『元気にあいさつをすること。話をしっかり聞くこと。自分のことは自分ですること。』ができるようになってほしいという旨の話をしました。新入生は、とても立派な態度で式に臨むことができました。入学式が終わった後は、教室で担任の先生から話を聴き、その後は体育館で保護者の方々と記念撮影をしました。

これから始まる6年間の小学校生活。いろいろなことがあると思いますが、毎日元気に学校に来て、楽しい思い出をたくさんつくってほしいと願っています。



【立派な態度です。：1年1組】



【立派な態度です。：1年2組】



【おうちの人と記念撮影：1組】



【おうちの人と記念撮影：2組】



2023/04/11

保護者の皆様、地域の皆様、令和5年が明けて、様々な制限が緩和され、現在、コロナ禍も収まりつつあります。とは申しませんが、まだまだ油断することはできませんし、全てがコロナ禍前に戻るといわけにはいかないと思います。ですが、学校としても、改めて一つ一つの教育活動等を見直し、その時々状況に合うような形で、計画・実施していきたいと思っています。

本年度も、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



「ピンチはチャンス！～発想の転換～」

過日の新型コロナウイルスの事案では、大変御心配、御迷惑をおかけしました。おかげさまで、その後、児童、教職員一同、症状が出ることもなく、現在に至っております。

さて、学校の臨時休業期間が続いたまま5月を迎えました。すでに例年の夏休みを超える長い期間、

子どもたちは家庭で過ごしています。大人の私たちでさえ経験がなく、先の見通しももちにくいこの現状に、保護者の皆様におかれましては、とてご苦労されていることと思います。また、子どもたちの今後にどのような影響を及ぼすのかということも、とても気になります。ですが、そんなときだからこそ、思い切った「発想の転換」をするチャンスかもしれません。つまり、「ピンチはチャンス！」という考え方をするということです。



今年度から小学校で完全実施される学習指導要領には「これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれが思い描く幸せを実現してほしい。」という願いがこめられています。

知識や経験は大切ですが「今までどおり」が通用しない状況においては、自分の知識や経験を基に「自分で判断して行動する」ことが必要となります。まさに今の状態がそうだとはいえるでしょう。大人の世界でも、今回のことで、テレワークや在宅勤務が多く取り入れられるようになってきました。子どもたちが働き手となる未来には、今ある仕事がなくなっていたり、新たな仕事ができたりするだけでなく、現在では全く想像すらできない多様な働き方が取り入れられていることも予想されます。「学校に行ったら勉強する」「職場に行ったら仕事をする」だけでなく「自分の時間を効率よく使って勉強や仕事をする」ことが求められてくるのです。

とはいえ、まだ小学生。先生も友達もいない「自宅」で、学校にいるときと同じように学習をすることは難しく、思ったようにはできません。勉強をする気になれない、計画どおりにできない、やろうとしても分からないことが多い、集中が続かない、何より生活リズムがくるってしまった…私を含め、多くの人が当てはまるかもしれません。

そこで必要になってくるのが「発想の転換」です。「学校に行けない」「友達と遊べない」ことは大きなピンチですが、その分手にしているのは普通はなかなか自由にならないばかり大なる「時間」です。この1日24時間という「時間」は決して貯めておくことができません。ですから、有効に使わなくては本当に「もったいない」ことだと思います。できない理由を並べたり、やらない自分を責めたりしていても、あるいは、だらだら、ぼーっとしていても、遊びほうけて過ごしていても、ノンストップで過ぎていく時間。大げさかもしれませんが、この「時間」をどう使うか、つまり「時間」を意識して「時間」を有効に使う術（すべ）を学ぶことが、今後の人生に大きな影響を与えることになるかもしれません。



そこで、以下の枠内の文章を児童のみなさんへ是非読んで聞かせていただければと思います。

まずはできることから取り組んでみましょう。担任の先生から学習プリントが届けられたり、ヒントになりそうなことを分散登校日に伝えられたりしていると思います。「週の計画表」や「学習プリント」などを基にして、まず好きなこと、得意なことに「時間」を使って自信を付けましょう。学習の課題のやり方も、それぞれだと思えます。早くできたら残りは自由「時間」にするとか、好きなことを30分やったら次の30分は勉強するなど、自分に合った計画・ルールを見付けられるとよいですね。もちろん、机に向かうだけではなく、掃除や調理、洗濯などの家事に取り組むのもいいですし、運動や読書、工作、手芸などに集中するのもいいと思います。1日のうち「がんばったな」「楽しかったな」と思える「時間」を少しでも増やせるよう、工夫してみてください。

6月1日から学校は再開しますが、あと少し続く「STAY HOME（ステイ ホーム）」。命を守るために必要な「時間」です。そして、学校生活に向けての「基礎づくり」「準備運動」の「時間」でもあります。スムーズに学校生活になじめるよう、今しかできないことに「時間」を上手に使い、取り組んでみてください。（さしあたり、「早寝・早起き・朝ごはん」から始めてみましょう。）私たち教職員、先生たちも、しっかり準備をしてみなさんを待っています。

【今後の予定について】

6月1日（月）から通常登校になります。詳細につきましては、一斉メール配信等で御確認願います。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等によっては、改めて変更される場合もあります。どうぞ、御理解の上、御了承願います。

- 第1学期終業式：7月31日（金）
- 夏季休業：8月1日（土）～8月16日（日）
- 第2学期始業式：8月17日（月）

